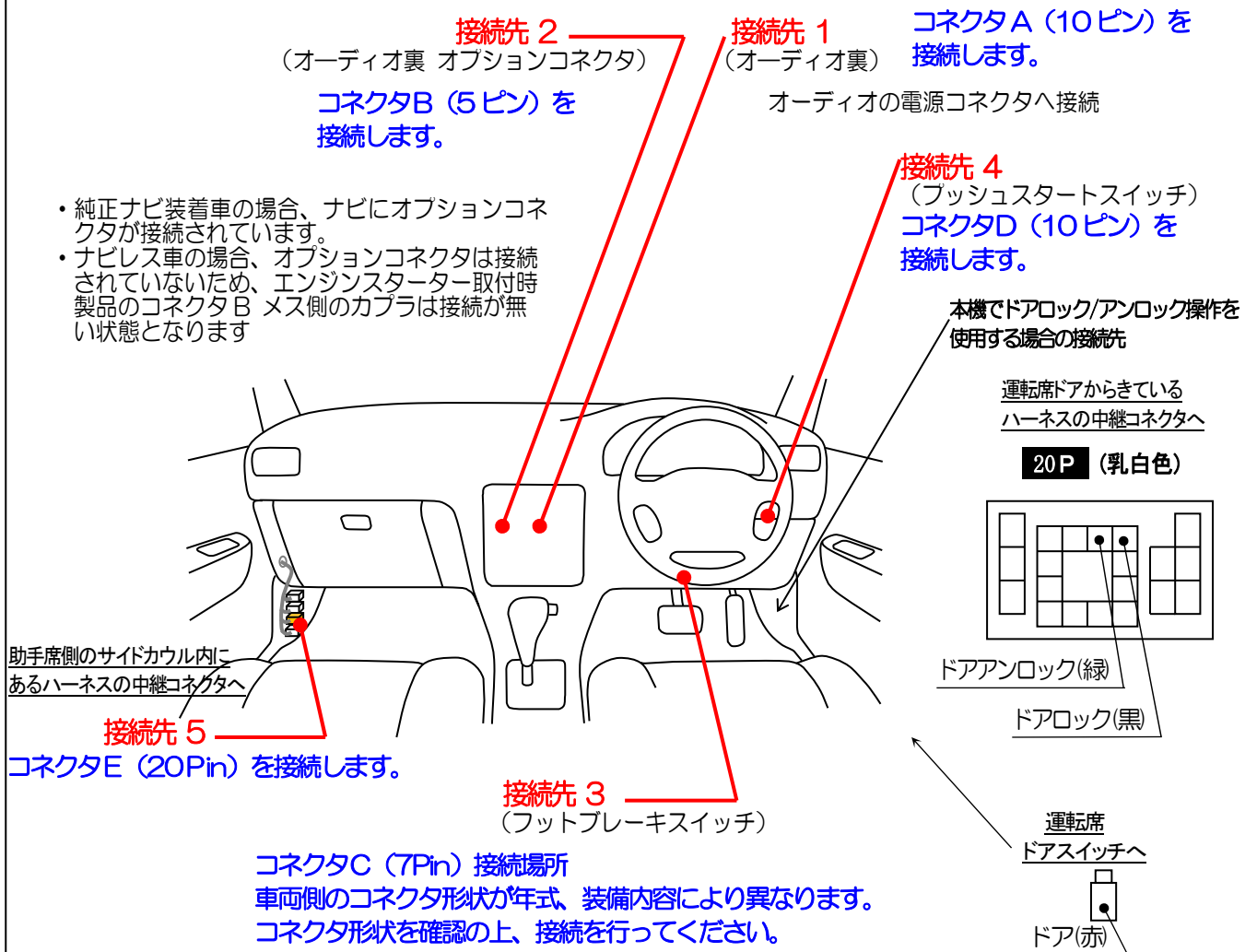
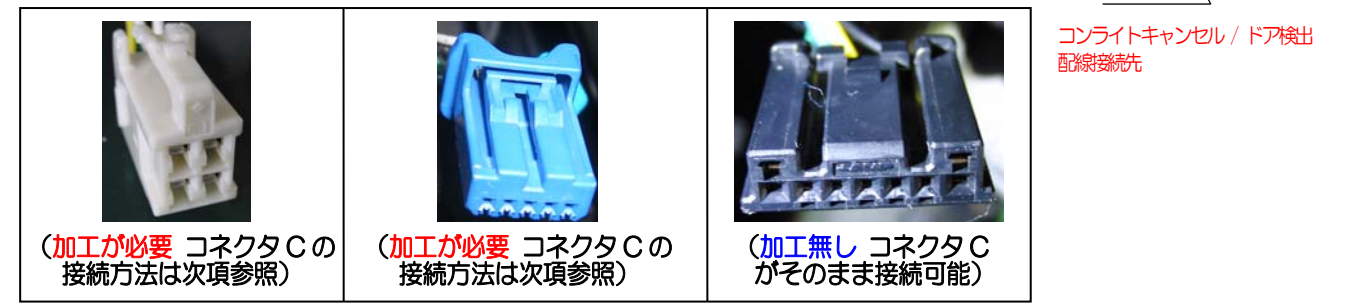


メーカー	トヨタ	車体型式	P13#系
車種	ヴィッツ (プッシュスタート装備車)	年式	H22.12~R2.3
専用ハーネス	T-200		

- コネクタ C (7Pin) カブラの形状が年式、装備内容により異なる為、配線加工が必要となる場合があります。
  - セル時間設定、グロー時間設定、ターボタイマー設定、セルモータ停止タイミング検出方法の選択、始動判定方法の選択、IG 設定は工場出荷時(初期設定)の状態で使用ください。
  - 電気式ドアロックスイッチ(ドアロックスイッチで全席のドアロック制御が可能なもの)装備車のみドアロック制御の取り付けが可能です。キーレスエントリー(A-17SF)オプション対応の機種 ⇒ キーレスエントリーA-17SF が別途必要です。
- 【 エンジンスターター使用上の注意 】**
- エンジンスターターによるアイドリング時の使用制限
    - ・エンジンスターターでのエンジン始動中は、キーレスリモコンによるロック/アンロックはできません。
    - ・エンジンの始動時にストップランプが点灯します。
  - その他使用制限
    - ・ターボタイマー機能は使用できません
  - 車両のライトスイッチをオートライトで使用する場合、別売品の A-60 が必要となります
  - A-18SF (ハザード制御) を取り付ける場合、A-18SF の常時電源 (赤線) はオーディオの常時電源線に接続しないでください



- ・純正ナビ装着車の場合、ナビにオプションコネクタが接続されています。
- ・ナビレス車の場合、オプションコネクタは接続されていないため、エンジンスターター取付時製品のコネクタ B メス側のカブラは接続が無い状態となります

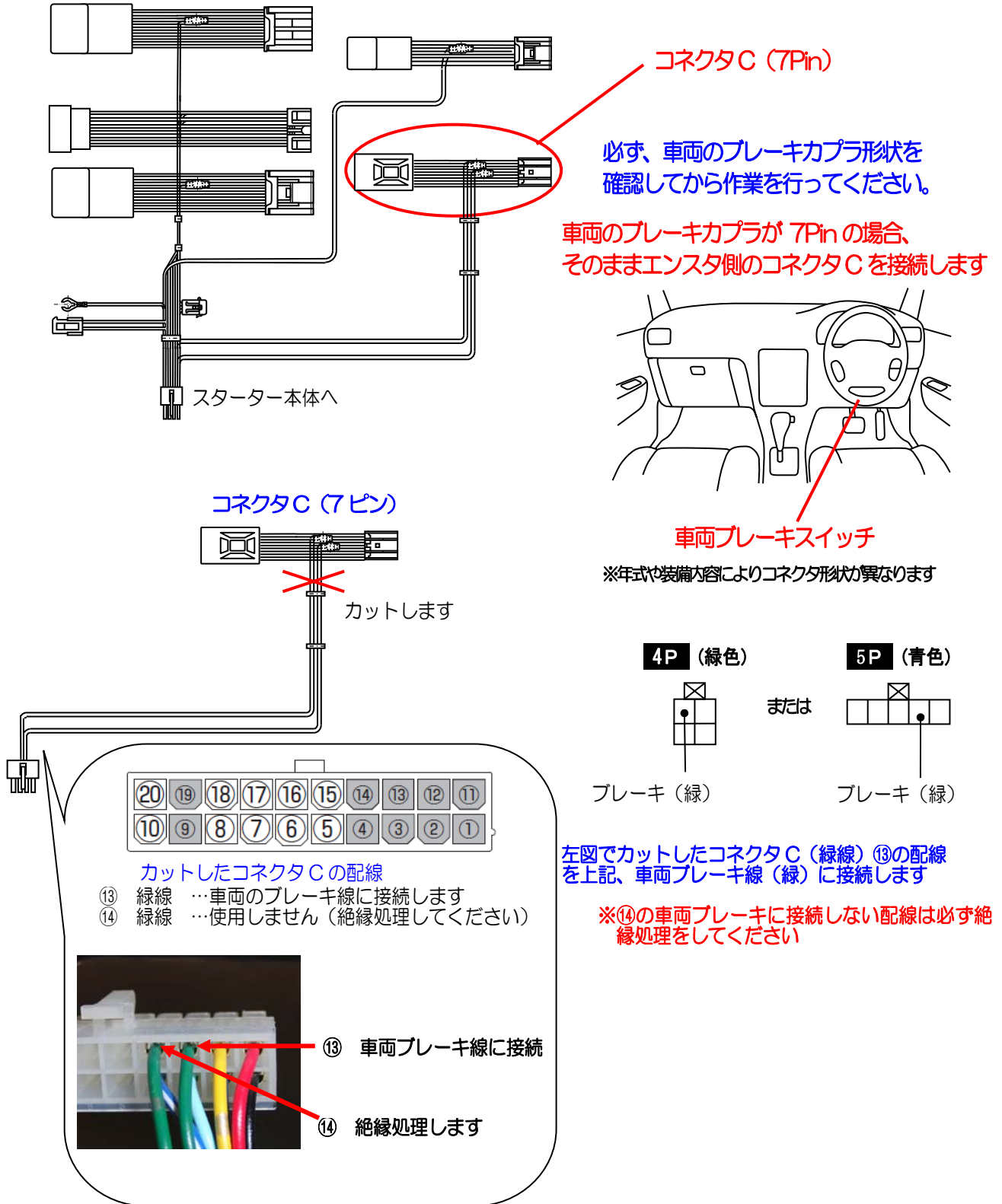


メーカー	トヨタ	車体型式	P13#系
車種	ヴィッツ (プッシュスタート装備車)	年式	H22.12~R2.3
専用ハーネス	T-200		

●コネクタC(7Pin)カブラの形状が年式や装備内容により異なります。コネクタ形状を確認し配線加工を行ってください。

### コネクタC (7ピン) の加工方法

※必ず下記の通り接続してください。正しく接続ができていない場合、ブレーキ検出ができません



## ブレーキ検出の設定手順

全ての配線接続が終了し、ジャンクションユニットに電源投入後、ジャンクションユニットから「ピーピーピー ピーピーピー ピーピーピー ……」音が鳴っている状態で、下記手順で設定を行ってください。

- 1 車両の純正スマートキーを車外に持ち出し、ドアを閉じ、開ける。  
→純正スマートキーが車内にある場合や、車外でも車両に近い場合、ブレーキ検出の設定操作ができる事もあります。スターターでのエンジン始動が出来ない原因となります。(目安として車から1~2m位離してください)  
→ドアを閉じ、開けるとジャンクションユニットは「ヒビビッ ヒビビッ ヒビビッ ……」音に変わります。
- 2 純正スマートキーを携帯し車両に乗り込み、シフトレバーがP (パーキング) になっていることを確認し、ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを押し I G ON にします。  
→プッシュスタートスイッチを押すごとに OFF → ACC → I G → OFF …の順に切り替わります  
→ジャンクションユニットの確認音「ヒビビッ ヒビビッ…」が止まります。
- 3 ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください)  
→ジャンクションユニットから「ピッ」音が鳴ります。
- 4 ブレーキペダルから足を離します。  
→ジャンクションユニットから「ピロロロロ」音が鳴ります。
- 5 プッシュスタートスイッチを押して電源を OFF にします。

## リモコン操作時の注意事項

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
- リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



- 純正スマートキーをリモコンのストラップのリングに取り付けてください。
- 市販のキーリングを使用する場合は、リモコンと純正スマートキーの間隔が4cm以上離れないようにしてください。
- リモコンと純正スマートキーは、リングで取り付けたまま一緒に携帯してください。
- リモコンと純正スマートキーを重ねてエンジン始動しないでください。  
→エンジン始動できない原因となります

